



株式会社アイ・エム・シー・エイ様に対する 『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、2024年8月28日（水）、九条支店取引先株式会社アイ・エム・シー・エイ（大阪府大阪市港区弁天 代表取締役 宮島 太郎）に対し、『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』を実施しましたのでお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス は、お客さまの企業活動が経済・社会・環境にもたらすインパクトを包括的に評価し、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和に向けた取組みを支援する融資のことです。お客さまと当行が協議の上、マテリアリティ（重要課題）を解決するための取組方針を定め、その達成度合いを測定する KPI（重要目標達成指標）を設定し、当行がモニタリングを行うことで、お客さまのサステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

記

■企業の概要

会社名	株式会社アイ・エム・シー・エイ
所在地	大阪府大阪市港区弁天1丁目2番1号
業種	宝飾品小売業

【サステナブルな取組み】

当社は地域のプロスポーツチームへの協賛や自治体・学校への寄付を行うなど、社会貢献活動を行ってきました。また、働きやすい職場環境構築やオレンジリボン活動を通じた児童福祉活動への協力を行い、サステナビリティ経営の幅を広げています。この活動をさらに加速し、当社が提供する宝石・サービスを通じて社会に対しどのような価値を創出できるかを常に考察し、日々の業務の中にもサステナビリティの理念を浸透させていきます。

※株式会社アイ・エム・シー・エイの「ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書」については、別紙をご参照ください。

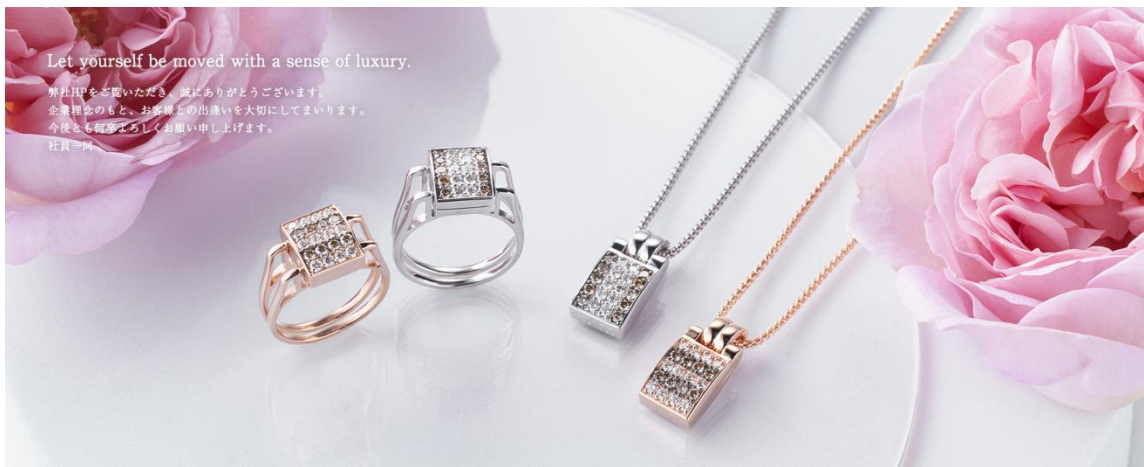
以上

株式会社アイ・エム・シー・エイ

ポジティブインパクトファイナンス評価書



I M C A



Let yourself be moved with a sense of luxury.

弊社HPをご覧ください。誠にありがとうございます。
企業理念のもと、お客様との出逢いを大切にしています。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
社員一同

2024年8月28日



いい出合い ふくらむ未来
百十四銀行

百十四銀行は、株式会社アイ・エム・シー・エイ（以下、「アイ・エム・シー・エイ」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、当社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト（以下、「PI」）/ネガティブインパクト（以下、「NI」））を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、百十四銀行が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	4
(1) 株式会社アイ・エム・シー・エイの企業概要	4
(2) 株式会社アイ・エム・シー・エイの事業概要	5
(3) 経営理念.....	6
(4) サステナビリティ.....	6
2. インパクトの特定.....	7
(1) バリューチェーン分析とインパクトマッピング	7
(2) 特定したインパクト	11
(3) インパクトニーズの確認、百十四銀行との方向性の確認.....	13
3. インパクトの評価.....	14
4. モニタリング.....	15
(1) アイ・エム・シー・エイにおけるインパクトの管理体制.....	15
(2) 百十四銀行によるモニタリング	15

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 株式会社アイ・エム・シー・エイの企業概要

企業名	株式会社アイ・エム・シー・エイ
設立	1971年9月
代表者名	代表取締役 社長 宮島太郎
資本金	5,000万円
従業員	50人（2024年6月末）
売上高	38億6,600万円（2023年9月期）
事業拠点 （主な拠点）	本社 〒552-0007 大阪府大阪市港区弁天1-2-1 専用工房 〒760-0079 山梨県甲府市上石田4-8-23
主な事業内容	宝石・貴金属の輸入・制作・卸業・販売 不動産賃貸業 ホテル運営事業 飲食店運営事業（IMCA Hotel内 鉄板焼きレストラン宝希花 BAR MIURO）
自社ブランド	ALISIA CALAR（アリシア カラー） 商標登録第4990608号



(2) 株式会社アイ・エム・シー・エイの事業概要

大阪市弁天町にて1971年より宝石加工・小売業を営む。全国各地にて宝石販売・営業を行うが、本社以外に営業拠点を置かず、各営業社員による顧客への個別訪問と、全国各地で開催する商談会にて、ピンポイントに営業を行う独自のスタイルで展開している。山梨県甲府市の宝石加工工房と専任契約を結び、「ALISIA CALAR」などの自社ブランドの宝石加工を行っている。自社ブランド商品については社内デザイナーが一品ずつデザインを行っており、ハイクオリティとコストパフォーマンスを兼ね備えたリング、ネックレス、ピアス、イヤリングなどを豊富にラインアップすることで、顧客の細かなニーズに応えている。

大阪市内にて、ホテルと鉄板焼きレストランも運営しており、宝石や黄金をテーマにした豪華な内装と全室ミストサウナ、ジェットバスを完備した客室、三ツ星レストランで修行したシェフチームによる鉄板焼きを提供し、多くのゲストに感動を与えている。なお、ホテルの予約は一般向けには行っており、宝石購入をした顧客向けに限定して予約を受け付けている。一般向けの予約受付は来年度以降を予定している。

主なブランド・サービス

<ALISIA CALAR>

ALISIA CALAR



ギリシャ語で“真実のよろこび”を意味する「ALISIA CALAR」。最高のよろこびと豊かさ、そして美しさを実感していただきたいという思いから誕生した自社ブランドジュエリーシリーズである。それぞれの宝石の持つ華やかさや可憐さ、そして時折、奥深から湧き出る神秘さを、女性の理想像として体現させることをコンセプトに、デザインしている。

<Ailis ALISIA Marriage Ring>

Ailis ALISIA Marriage Ring



自社ブランド「ALISIA CALAR」から派生した、結婚指輪のシリーズ。最大の特徴は表面に施されたダイヤ型のALISIA MACHINE CUT（アリシマシーンカット）である。リング表面にALISIA MACHINE CUTを施すことで、見る角度により様々な煌めきを表現している。リングの内側には「永遠の絆」が宝石言

葉のピンクダイヤモンドをあしらひ、二人の「永遠の絆」を守れるようにとの思いが込められている。

(3) 経営理念

当社は、顧客、社員それぞれへのメッセージとして、以下の言葉を掲げている

Let yourself be moved with a sense of luxury

本当に美しく、満足していただける商品をお値打ち価格で身につけていただき感動と豊かさを実感していただくために、日々励行に努めております。

success story～成功物語～の象徴となる宝石を身につける素晴らしさをこれからも数多くのお客様に伝えて参りたいと考えております。

私が誇りに感じていることは、弊社の大切なお客様と自信の商品と家族的な社員です。

皆様のご指導の下、精一杯進んで参りたいと存じますので今後とも一層のご愛顧のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

さらに、ブランドデザインに込めた思いとして、以下の言葉を掲げている。

私たちは、お客様に最もお似合いのジュエリーを見つけだし、その美しいジュエリーを身につけるよろこびを提供させていただいております。ですが、そのお客様のよろこびの表情を見て、実はお客様の方からも元気と感動を与えていただいています。ジュエリーは決して生活に必要な不可欠な物ではありません。だからこそ、身につけるよろこびは大きいのだと考えます。より多くの方々にこの感動を覚えていただくために、心を入れて取り組んで参ります。

(4) サステナビリティ

当社では、SDGs達成に向けて、以下のようなSDGs宣言を行い、取り組みを進めている。

	・貧困や飢餓に苦しむ国や人々に恒常的な雇用を創出 ・「オレンジボン運動」に賛同、寄付
	・地元人材の積極採用 ・地元小学校への寄付・寄贈 ・「オルクスバファローズ」とのスポンサー契約 ・地元企業との取引拡大
	・従業員の要望を取り入れた研修制度 ・休暇制度の充実 ・時間外労働削減の徹底
	・天然原石の使用 ・事業活動におけるゴミの減量化及び再資源化の推進 ・エコカーを積極的に導入

2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析とインパクトマッピング

- ・ 当社の事業を①宝石小売り事業、②ホテル・飲食店事業の2つに分ける。
- ・ 川下の事業は①、②双方にて一般消費者となるため、分析の対象外とする

①宝石小売事業

川上の事業	当社の事業
他に分類されないその他の鉱業及び採石業 (業種コード 0899)	宝石及び関連製品製造業 (業種コード 3211) 専門店によるその他新品小売業 (業種コード 4773)

●●：対応必須
●：対応推奨

バリューチェーン	川上の事業		当社の事業			
業種名	899		3211		4773	
	他に分類されない その他の鉱業及び採石業		宝石及び関連製品製造業		専門店によるその他新品小売業	
インパクト	PI	NI	PI	NI	PI	NI
水		●●				
食料						
住居						
健康・衛生		●	●			
教育						
雇用	●	●	●	●	●	●
エネルギー						
移動手段						
情報						
文化・伝統						
人格と人の安全保障		●●				
正義						
強固な制度・平和・安定						
水(質)		●●		●		
大気				●		
土壌		●●		●		
生物多様性 と生態系サービス		●●				
資源効率・安全性		●●		●		
気候		●		●		
廃棄物		●		●		●
包括的で健全な経済	●		●		●	
経済収束						

②ホテル・飲食店事業

川上の事業	当社の事業
野菜及びメロン、根菜及び塊茎の栽培 (業種コード 0113) 海洋漁業 (業種コード 0311) 肉の加工・保存業 (業種コード 1010) 石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、 香水及び化粧品類製造業 (業種コード 2023) 繊維物及び毛皮製品洗濯・(ドライ) クリーニング業 (業種コード 9601)	短期宿泊業 (業種コード 5510) レストラン及び移動式飲食業 (業種コード 5610)

バリューチェーン	川上の事業										当社の事業			
業種名	113		0311		1010		2023		9601		5510		5610	
	野菜及びメロン、根菜及び塊茎の栽培		海洋漁業		肉の加工・保存業		石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、香水及び化粧品類製造業		繊維物及び毛皮製品洗濯・(ドライ)クリーニング業		短期宿泊業		レストラン及び移動式飲食業	
インパクト	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
水		●●												
食料	●●		●●		●●								●	
住居														
健康・衛生	●●	●	●		●	●●	●		●		●		●	
教育														
雇用	●●	●	●●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エネルギー														
移動手段														
情報														
文化・伝統					●						●		●●	
人格と人の安全保障		●●												
正義														
強固な制度・平和・安定														
水(質)		●●		●		●		●				●		
大気								●						
土壌		●●												
生物多様性と生態系サービス		●●		●●								●		
資源効率・安全性		●●		●		●		●						
気候		●●		●		●		●						
廃棄物		●●		●		●●		●		●		●		●
包括的で健全な経済	●		●		●		●				●			
経済成長	●		●											

＜カテゴリごとの検討＞

発現したインパクトについて、カテゴリ毎に対応するSDGs ターゲットを整理する。当社事業と関連の無いカテゴリについては分析対象外とする。

①宝石小売事業

(i) 水、水(質)、大気、土壌、生物多様性と生態系サービス、資源効率・安全性、気候、廃棄物

- 宝石加工において、ネックレスやリングなど各種製品への加工時に、削りくずが発生し、仕上げの洗浄時に水と混ざり、排水管の損傷や周囲の土壌汚染につながる場合がある。また、細かい粉塵の漏洩も、特に工房が住宅地の近傍にある場合は問題となる。
- また、川上の産業である「他に分類されないその他の鉱業及び採石業」において、大規模な開発を

伴う露天掘りの鉱山における原石の採掘では、森林破壊や周辺地域の生態系の破壊、大気汚染のリスクが高まり、選別における有害薬品の使用による土壌、地下水の汚染が発生する場合がある。

- 当社では、専用工房から出る排水において、直接削りくずが排水管に流れないように、削りくずを分離してから排水するよう工夫をし、排水管へのダメージを抑えている。また、粉塵が工房外へ流出しないよう、工房の密閉を行い、換気装置も粉塵が直接外に出ない工夫をしている。これらにより水（質）、大気、土壌のNI縮小に寄与している。加えて、原石の削りくずに関しても、ケースの装飾やノベルティに再利用するなど、廃棄物抑制に取り組んでいる。
- また、使用する社用車を全てハイブリッドカーに更新しており、営業活動から排出される温室効果ガスも削減している。
- 原石の輸入においても、大規模な開発を伴わない坑道掘りの鉱山から採掘される原石を選んでおり、大規模な森林、生態系破壊が発生しない体制づくりに貢献している。また、原石の選別・洗浄においても、流水のみを使用するため、土壌、水源の汚染リスクが低い。これらにより水、水（質）、土壌、生物多様性と生態系サービス、資源効率・安全性、気候のNI縮小に寄与している。
- SDGsでは「3.9：有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる」「7.3：エネルギー効率の改善率を倍増させる」「12.5：廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」「13.3：気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」のターゲットに該当すると考えられる。

（ii）健康・衛生

- 宝石販売は、顧客のニーズに応えることによる満足度の向上と、宝石による幸福感の高揚の2つの効果でウェルビーイングの向上に寄与している。
- 当社においても、自社ブランド「ALISIA CALAR」のデザイン性の高さや豊富な在庫の確保による顧客ニーズへの即応性、細やかなアフターメンテナンスにより、顧客の幸福感向上や充実感の創出を最大限重視しており、この動きが顧客からの絶大な信頼につながっている。このことから、健康・衛生のPI拡大に寄与している。
- SDGsでは「3.4：非感染性疾患による早期死亡率を予防や治療により3分の1減らし、心の健康と福祉を推進する」等のターゲットに該当すると考えられる。

（iii）雇用、人格と人の安全保障

- 個人消費者向け小売業において、直接顧客から感謝されることや売り上げが直接的に給与・処遇面に反映されることで、自己肯定感やモチベーションが向上しディーセントワークが実現される。また当社では、「全員営業」の精神を全社員が共有し、事務を担当している社員も、営業社員の後方支援や既存顧客のアフターフォローを通じ、売り上げに直接かかわる取組みを行っている。しかし、販売インセンティブの獲得や顧客対応への入り込みにより、社員自身で負荷をかけすぎる傾向が強いのがこの業界の特徴であり、経営・マネジメント層には適切な業務配分や健康状態の把握・管理が求められる。
- 川上の産業である「他に分類されないその他の鉱業及び採石業」でも、途上国の碎石地での安全管理の徹底や強制・児童労働の防止が求められており、適正な労働環境の整備やそのための指導・支援が必要となる。
- 当社ではアプリによる労働時間管理を行い、出張が基本の働き方でもリアルタイムに労働時間管

理を行うことができ、過重労働の抑止をしている。また、発注や注文処理などの事務作業を全て電子化し、出張先で受発注処理を直接おこなえるようにしている。このような取組みにより、営業人員にかかる業務負荷の軽減にも取り組んでいる

- 原石の採掘においても、商社を通じて採掘現場の状況を把握し、強制労働や児童労働が行われていないことを確認しており、違法採掘によって発掘された宝石が流通することを抑止し、違法労働撲滅に貢献している。
- これらの取組みは、雇用のPIを拡大し、雇用と人格と人の安全保障のNIを緩和している。
- SDGs では「8.5：雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」「8.8：労働者の権利を保護し、安心・安全に働けるようにする」のターゲットに該当すると考えられる。

②ホテル・飲食店事業

(i) 廃棄物

- ホテルや飲食店からは、使用済みのアメニティや食材の残り・残飯などが多く排出され、資源の有効活用や廃棄物量の削減が求められている。
- 当社の運営するホテルと飲食店は貸し切り及び完全予約制となっており、必要以上のアメニティやリネン、食材を用意することがないため、ロスを発生させにくい。
- この取組みにより、廃棄物のNIを緩和させている。
- SDGsでは「12.5：廃棄物を減らす」等のターゲットに該当すると考えられる。

(ii) 文化・伝統、健康・衛生

- ホテルにおいて、地域の歴史や文化にスポットライトを与え、多くの人が訪れたいくなるようにさせることが至上命題となっている。特に昨今はインバウンド需要をいかに地域に引き込み、多くの外国人観光客を満足して滞在させられるかがポイントとなっている。飲食店においても、質が高いたくだけでなく、地域にゆかりが深い食材を使用し、地域の食文化を再興させる役割を担っている。その地域に來なければ体験できない滞在や食文化をいかに多くの人に提供できるかが求められている。
- 当社が運営するホテルでは、華やかな上方文化の象徴であり、大阪を本拠地とした豊臣家が愛した黄金を一部の客室やロビーのモチーフとして採用し、宿泊客に大阪が日本の中心であったころの桃山・上方文化の荘厳さを感じさせている。また立地も大阪城に近く、大阪の歴史を余すことなく体感できるホテルとなっている。
- 飲食店においても、世界のホテルで腕を磨いてきた一流シェフチームが、それぞれのゲストの味覚・趣向に合わせた食材をその日に仕入れ、熱をバランスよく食材に浸透させる特注の30mm厚の鉄板でゲストの目の前で調理する。伝統的な日本の食材に西洋のテイストをさりげなく取り入れ、どのような属性のゲストでも地域の美食文化を楽しめている。
- また、ホテルにおいて、全客室にミストサウナとジェットバスを備え付けており、血行促進や代謝改善などの宿泊客の健康増進に役立っている。
- この取組みは、文化・伝統、健康・衛生のPI拡大に寄与している。SDGs では「3.4：非感染性疾患による早期死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減らし、心の健康と福祉を推進する」に該当する。

(iii) 雇用

- 当社が運営するホテルはラグジュアリーな空間をゲストへ提供するため、従業員にも高度なサービスを提供することが求められている。また、ゲストの様々なニーズに速やかに応えるため、勤務中は緊

張状態が長時間継続することになるため、負荷の高い業務内容である。

- ・ 当社では自信をもって接客、対応ができるよう、従業員が望む資格取得等の自己啓発を全額補助しており、従業員のキャリアアップを支援している。また、上司、取締役との面談を随時行い、健康診断と併せ、ストレスチェックを含めた健康管理を徹底している。また、宝石小売事業と同様にアプリにて労働時間管理を行い、超過勤務を抑制するとともに、今後はホテル事業専従のスタッフの拡充も行うことで、従業員1人当たりの負荷軽減にも取り組んでいく。
- ・ これらの取組みは、雇用のPIを拡大し、NIを緩和している。
- ・ SDGsでは、「8.5：雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」「8.8：労働者の権利を保護し、安心・安全に働けるようにする」に該当する。

(2) 特定したインパクト

以上を踏まえて、当社のインパクトをE S G（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境負荷の低減～自然の輝きを絶やさないために

当社の宝石小売事業における営業スタイルは顧客のもとへ一件ずつ訪問し、絶えず移動をしながら販売していくものである。そのため、社用車での移動も多くなり、温室効果ガスの排出量も自然と増えてしまう。当社の営業は各チームが同時に日本各地へ訪問するため、社用車も複数台確保しておく必要があり、台数を減らすことも容易ではない。そのため当社では、営業車の全てをハイブリッド車に置き換えており、温室効果ガスの発生を極力抑えている。今後も電気自動車をはじめとするエコカーの更新とエコ運転の徹底を行い、営業活動から排出される温室効果ガス排出量をさらに抑制していく。

本社での事務作業やホテル事業においても、決済ルートの電子化や宿泊帳簿の電子化などのDX推進によるペーパーレスや再資源化可能な備品（リサイクルヘアブラシ、詰め替え式シャンプー・ボディーソープなど）の使用を励行し、廃棄物削減を進める。

このインパクトはUNEP FI のインパクトレーダーでは「気候」「廃棄物」「資源効率・安全性」のカテゴリに該当し、環境面のNIを緩和すると考えられる。SDGs では「7.3 世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる」「12.5：廃棄物を減らす」「13.3：気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」等のターゲットに該当すると考えられる。

社会（Social）

ラグジュアリーな体験でウェルビーイング実現を

当社の加工・販売する宝石はデザイン性が高く、輝きや質感の奥深さからリピート購入をする顧客が多く存在する。顧客の趣味趣向に的確に即時に応え、満足度を満たすことにより、リピーター顧客を確保できている。このことから当社から宝石を購入した顧客のウェルビーイングは高いレベルに達していることが考えられ、当社の営業活動そのものが地域・個人のウェルビーイング向上に寄与していると言える。



当社が運営するホテルでは、華やかな上方文化の象徴であり、大阪を本拠地とした豊臣家が愛した黄金を一部の客室やロビーのモチーフとして採用し、宿泊客に大阪が日本の中心であったころの桃山・上方文化の荘厳さを感じさせている。また立地も大阪城に近く、大阪の歴史を余すことなく体感できるホテルとなっている。レストランでも、こだわりの国産食材に西洋テイストをさりげなく加えることで、外国人観光客にも親しまれる味を提供しており、日本・大阪の歴史・文化・風土を最大限引き出している。



このインパクトは UNEP FI のインパクトレダーでは「健康・衛生」「文化・伝統」のカテゴリに該当し、社会的側面のPIの拡大に貢献すると考えられる。SDGsでは「3.4:非感染性疾患による早期死亡率を予防や治療により3分の1減らし、心の健康と福祉を推進する」のターゲットに該当すると考えられる。

企業統治（Governance）

安心して働ける会社へ～「社員力」の発揮

当社の宝石小売事業においては、営業成績が直接社員の給与や処遇に反映されるため、社員のモチベーションが高く、顧客との一對一のコミュニケーションの機会も多いため、顧客の幸福感に貢献できている実感を得やすい環境である。当社では、「全員営業」の精神を全社員が共有し、事務を担当している社員も、営業社員の後方支援や既存顧客のアフターフォローを通じ、売り上げに直接かかわる取組みを行っている。それと同時に、数字を追い求めることから自分自身で過重労働を強いてしまうこともある。また、じかに顧客と接することからストレスを感じることも多く、負荷の強い環境でもある。ホテル・飲食店事業においても、ラグジュアリーな空間をゲストへ提供するため、従業員にも高度なサービスを提供することが求められている。また、ゲストの様々なニーズに速やかに応えるため、勤務中は緊張状態が長時間継続することになるため、負荷の高い業務内容である。当社では、各種休日の制定や明確な営業インセンティブ制度の策定、ホテルやジムなどの福利厚生施設の充実、出退勤アプリによる労働時間のリアルタイム管理を行い、過重労働の抑止やリフレッシュの促進、モチベーションのさらなる向上に注力している。今後は社員の営業力向上と平均年収の上昇、女性リーダーの登用を含めたダイバーシティ雇用の推進と女性社員へのキャリア形成研修・面談の実施、資格取得などの自己啓発補助や営業トーク・商品知識を伝える研修の開催を通じたスキルアップ・キャリア形成支援に取り組んでいく。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレダーでは「雇用」のカテゴリに該当し、社会的側面のPI拡大と社会的側面のNI縮小に寄与すると考えられる。SDGs では「5.5：政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する」「5.b：女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する」「8.5：雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」のターゲットが該当すると考えられる。

(3) インパクトニーズの確認、百十四銀行との方向性の確認

① 国内におけるインパクトニーズ

- 国内の「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと当社のインパクトを確認する。
- 当社のインパクトに対する SDGs のゴールは、「3、5、7、8、12、13」である。国内における SDGs ダッシュボードでは、「5、12、13」において大きな課題が残る、「3、7、8」において課題が残るまたは重要な課題が残るとなっており、国内のインパクトニーズと当社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



Status of SDG targets for Japan (% trend indicators)

② 百十四銀行が認識する社会課題との整合性

- 百十四銀行は、「百十四グループのマテリアリティにおいて「地域経済活性化への取組み」「人生100年時代への対応」「多様な人材が活躍・成長できる環境の整備」「DXの実現と地域社会のデジタル化」「気候変動等、環境課題への取組み」「持続可能な経営基盤の構築」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 当社の特定したインパクトにおいて、環境に関連するインパクトは、百十四銀行の「気候変動等、環境課題への取組み」と方向性が一致する。
- 社会に関連するインパクトは、百十四銀行の「人生100年時代への対応」「多様な人材が活躍・成長できる環境の整備」「地域経済活性化への取組み」と方向性が一致する。
- 企業統治に関連するインパクトは、百十四銀行の「多様な人材が活躍・成長できる環境の整備」「地域経済活性化への取組み」と方向性が一致する。

以上のように、百十四銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれにKPI を設定する

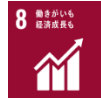
環境負荷の低減～自然の輝きを絶やさないために

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面において、NIを緩和
カテゴリ	「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	社用車のエコカー（EV車もしくはHV車）比率を高める DX、ペーパーレス等により廃棄物量を削減する
KPI	2027/9期までに社用車のエコカー比率を70%にする（2023/9期:50%） 2027/9期までに全社の紙使用量を2023/9期比20%削減する（2023/9期:約200kg）

ラグジュアリーな体験でウェルビーイング実現を

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において、PIを拡大
カテゴリ	「健康・衛生」、「文化・伝統」
関連する SDGs	
内容・対応方針	在庫の充実や社員のスキル向上を通じ、顧客の満足度を高める ホテル・飲食店ゲストに地域の歴史や日本文化・風土をより実感させる
KPI	2027/9期までに宝石小売業の売上高55億円とする(2023/9期:約38億円) 2027/9期までにホテル年間宿泊者数を200名以上にする (一般向けの予約開始は2025/9期以降を予定)

安心して働ける会社へ～「社員力」の発揮

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において、PIを拡大 社会的側面において、NIを緩和
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	社員の営業・接客スキルを向上させ、社員の業務成績を向上させる 女性社員の営業リーダーへの昇格希望が出しやすいよう、研修や面談にて啓発活動を行う
KPI	2027/9期までに平均年収を2023/9期比20%上昇させる 2027/9期までに営業リーダーにおける女性比率を30%とする (2023/9期:13%)

4. モニタリング

(1) アイ・エム・シー・エイにおけるインパクトの管理体制

- 当社では、管理本部を中心にCSRレポートを通じて自社業務の棚卸を行い、本PIFにおけるインパクトの特定並びにKPIの策定を行った。
- 今後についても、毎年会社が策定する運営方針に従って、各部署がSDGsの推進、並びに、本PIFで策定したKPIの管理を行っていく方針である。

(2) 百十四銀行によるモニタリング

- 本PIFで設定したKPIおよび進捗状況については、当社と百十四銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に1回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、百十四銀行が現時点で入手可能な公開情報、アイ・エム・シー・エイから提供された情報や当社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 百十四銀行が本評価に際して用いた情報は、百十四銀行がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は百十四銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。



セカンドオピニオン

百十四銀行 ポジティブインパクトファイナンス

株式会社アイ・エム・シー・エイ

2024年8月28日

サステナブルファイナンス本部

担当アナリスト：田中 麻実

格付投資情報センター(R&I)は百十四銀行がアイ・エム・シー・エイに対して実施するポジティブインパクトファイナンスについて国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)が制定したポジティブインパクト金融原則(PIF 原則)に適合していることを確認した。

R&I は別途、百十四銀行のポジティブインパクトファイナンス実施体制が PIF 原則に適合していることを確認している¹。今回のファイナンスに関して百十四銀行の調査資料の閲覧と担当者への質問を実施し、実施体制の業務プロセスが PIF 原則に準拠して適用されていることを確認した。

百十四銀行が実施するインパクトファイナンスの概要は以下のとおり。

(1) 対象先

社名	株式会社アイ・エム・シー・エイ
所在地	大阪府大阪市
設立	1971 年 9 月
資本金	5,000 万円
事業内容	宝石・貴金属の輸入・制作・卸業・販売、不動産賃貸業、ホテル運営事業、飲食店運営事業
売上高	3,866 百万円(2023 年 9 月期)
従業員数	50 名(2024 年 6 月末時点)

(2) インパクトの特定

百十四銀行は対象先の事業内容や活動地域等についてヒアリングを行い、バリューチェーンの各段階において発現するインパクトを分析し、特定したインパクトカテゴリを SDGs に対応させてインパクトニーズを確認した。また、当社の事業活動が影響を与える地域におけるインパクトニーズとの整合性について、持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN)が提供する SDG ダッシュボードなどを参照し確認した。

(3) インパクトの評価

百十四銀行は特定したインパクトの実現を測定できるようインパクトの内容を整理して KPI を設定した。ポジティブインパクトは SDGs 達成に寄与する取り組みとして追加性があると判断した。また、百十四銀行が掲げる重点課題(マテリアリティ)と方向性が一致することを確認した。

¹ 2023 年 3 月 31 日付セカンドオピニオン「百十四銀行 114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制」https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/04/news_release_suf_20230403_jpn_2.pdf

①環境負荷の低減～自然の輝きを絶やさないために

インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリ	「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	・社用車のエコカー(EV 車もしくは HV 車)比率を高める ・DX、ペーパーレス等により廃棄物量を削減する
KPI	・2027/9 期までに社用車のエコカー比率を 70%にする(2023/9 期:50%) ・2027/9 期までに全社の紙使用量を 2023/9 期比 20%削減する(2023/9 期:約 200kg)

②ラグジュアリーな体験でウェルビーイング実現を

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「文化・伝統」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・在庫の充実や社員のスキル向上を通じ、顧客の満足度を高める ・ホテル・飲食店ゲストに地域の歴史や日本文化・風土をより実感させる
KPI	・2027/9 期までに宝石小売事業の売上高 55 億円とする(2023/9 期:約 38 億円) ・2027/9 期までにホテル年間宿泊者数を 200 名以上にする (一般向けの予約開始は 2025/9 期以降を予定)

③安心して働ける会社へ～「社員力」の発揮

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大 社会的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・社員の営業・接客スキルを向上させ、社員の業務成績を向上させる ・女性社員の営業リーダーへの昇格希望が出しやすいよう、研修や面談にて啓発活動を行う
KPI	・2027/9 期までに平均年収を 2023/9 期比 20%上昇させる ・2027/9 期までに営業リーダーにおける女性比率を 30%とする (2023/9 期:13%)

(4) モニタリング

百十四銀行は対象先の担当者との会合を少なくとも年に1回実施し、本PIFで設定したKPIの進捗状況について共有する。日々の営業活動を通じた情報交換も行い対象先のインパクト実現に向けた支援を実施する。

以 上

【留意事項】

本資料に関する一切の権利・利益（著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、特段の記載がない限り、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による承諾無く、本資料の全部又は一部を使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）することは認められません。

R&Iは、本資料及び本資料の作成に際して利用した情報について、その正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

また、本資料に記載された情報の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報の使用に関連して発生する全ての損害、損失又は費用について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負いません。

セカンドオピニオンは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

セカンドオピニオンは、企業等が環境保全及び社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関又は民間団体等が策定する当該資金調達に関連する原則等との評価時点における適合性に対するR&Iの意見です。R&Iはセカンドオピニオンによって、適合性以外の事柄（債券発行がフレームワークに従っていること、資金調達の目的となるプロジェクトの実施状況等を含みます）について、何ら意見を表明するものではありません。また、セカンドオピニオンは資金調達の目的となるプロジェクトを実施することによる成果等を証明するものではなく、成果等について責任を負うものではありません。セカンドオピニオンは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。セカンドオピニオンは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&Iはセカンドオピニオンを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、セカンドオピニオン及びこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報、セカンドオピニオンの意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やセカンドオピニオンの使用に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとし）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。セカンドオピニオンに関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による承諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。

R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見です。R&Iグリーンボンドアセスメントでは、グリーンボンドフレームワークに関してのセカンドオピニオンを付随的に提供する場合があります。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&IはR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、資料・情報の不足や、その他の状況により、R&Iの判断でR&Iグリーンボンドアセスメントを保留したり、取り下げたりすることがあります。

R&Iは、R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報、R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントその他の意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やR&Iグリーンボンドアセスメントの使用、あるいはR&Iグリーンボンドアセスメントの変更・保留・取り下げ等に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとし）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。

【専門性・第三者性】

R&Iは2016年にR&Iグリーンボンドアセスメント業務を開始して以来、多数の評価実績から得られた知見を蓄積しています。2017年からICMA（国際資本市場協会）に事務局を置くグリーンボンド原則／ソーシャルボンド原則にオブザーバーとして加入しています。2018年から環境省のグリーンボンド等の発行促進体制整備支援事業の発行支援者（外部レビュー部門）に登録しています。また、2022年から経済産業省の温暖化対策促進事業におけるトランジション・ファイナンスの指定外部評価機関に採択されています。

R&Iの評価方法、評価実績等についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>）に開示しています。

R&Iは2022年12月、金融庁が公表した「ESG評価・データ提供機関に係る行動規範」（以下、「行動規範」という。）の趣旨に賛同し、これを受け入れる旨を表明しました。行動規範の6つの原則とその実践のための指針へのR&Iの対応状況についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/products/esg/index.html>）に開示しています（以下、「対応状況の開示」という。）。

R&Iと資金提供者及び資金調達者との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係はありません。

なお、R&IはESGファイナンスによる資金提供あるいは資金調達を行う金融機関との間で、金融機関の顧客にR&IのESGファイナンス評価を紹介する契約を締結することがありますが、R&Iは、独立性を確保する措置を講じています。詳細は対応状況の開示をご覧ください。